かみすげたささのおか

令和5年2月28日
上菅田笹の丘小学校
学校だより3月号

上菅田笹の丘小学校　学校教育目標
自分大好き　仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校

「令和5年度に向けて」

校長　世古 正樹

寒さが厳しい日々が続いていましたが、ようやく日中の日差しから春の気配を感じられるようになりました。明日からは３月、令和４年度も残すところ１ヵ月となりました。６年生は、小学校生活の残りの日々を、仲間と共に大切に過ごしています。１～５年生も、新しい学年への進級に向け、新たな希望を胸に抱いて過ごしています。

１年間、学校のリーダーとして活躍してくれた６年生が３月１７日（金）に本校から新しい世界へ羽ばたいていきます。委員会活動やクラブ活動、運動会でのリーダーシップ、大根栽培や大根販売、大根メニューづくりへの積極的な取組など、もてる力を精一杯発揮してくれました。その前向きな姿勢は、下級生の手本となり、学校の『顔』となってくれました。最高学年としての自覚をもって活躍してくれた６年生に、心から感謝します。どうもありがとう。１～５年生までの子どもたちは、６年生に感謝の気持ちを伝えようと、各学年で一生懸命準備を進めています。６年生は、４月からの中学校において、新たな環境の中で上菅田笹の丘小学校で培った力を最大限に発揮し、自分の無限の可能性を広げていってくれることを心から願っています。

さて、先日は学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。詳しい結果につきましては後日お伝えいたしますが、自由記述でいただきましたご意見についていくつかご紹介します。

＜よかった点、続けて欲しい取組＞
〇地域性を生かした野菜の栽培や給食での提供
〇行事等における制限の緩和（運動会参観２名、授業参観の実施等）
〇いじめやトラブルにおける迅速なチームによる対応
〇マチコミの有効活用（文書の配信、アンケート等）

＜意見＞
〇いじめの早期発見と早期対応の徹底
〇登下校のマナー、友達やまわりの人に対する態度や言葉遣いの教育
〇学校評価アンケートの項目の分かりにくさ

「地域性を生かした野菜の栽培」につきましては、たくさんの方々から高評価をいただきました。本校の大きな特色として、今後も地域の農家の方にご協力いただき、持続・継続させていきます。マチコミについては今後も継続して活用を進めていきます。学校評価アンケートの項目については、次年度は質問内容を検討して分かりやすいように改善していきます。いじめの対応につきましては、「よかった」と「早期発見、早期対応を徹底して欲しい」という両方のご意見をいただきました。これまでも児童の様子の変化を見逃さないようにしたり、アンケートをとったりして、いじめの早期発見に努めてまいりました。また、必要に応じて、クラスだけでなく学年や学校全体にいじめの要因を発信して指導し、未然防止や拡大防止をはかりました。今後も、まずはいじめを許さない人権意識を高める教育を日々の実践の中で推進し、未然防止に努めます。いじめを発見した場合は、担任だけでなく学年や児童支援専任も関わって、チームで早期に対応していきます。子どもたちにとって学校が安全で安心できる場所であるように、全力を尽くしてまいりますので、ご家庭におきましても、お気づきの点がありましたら、いつでも学校までご連絡ください。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度も本校の教育活動へご支援を賜り、誠にありがとうございました。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの感染状況に応じながらの１年間でした。その中でできることは何かを模索しながら教育活動を進めてまいりました。次年度は、５月に予定されている新型コロナウイルスの５類引き下げに伴い、教育活動もようやく制限が緩和されていきます。その中で、教育活動がより充実していくように、教職員一同で取り組んでまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。